

2019 年度 第 2 回幹事会 議事録

日 時： 令和元年7月19日（金）13:00～15:00
会 場：大阪科学技術センター 7 階 700 号室
出席者： 47 名

支部役員について

茶山支部長から、支部役員に関して、資料 No.1 に基づき説明があった。2019 年度の新幹事として、鈴木雅登氏（兵庫県立大学）、山口英一氏（日立ハイテクサイエンス）、下条晃司郎氏（日本原子力研究開発機構）の推薦があったことが紹介され、幹事会にて承認された。

前回幹事会議事録承認

前回議事録（資料 No.2 ）を確認し、異論なく承認された。

1. 本部関係報告

(1) 本部理事会報告

石濱本部理事から、資料 No.3 に基づき第 3 回理事会の議事について説明があった。昨年度、Analytical Sciences に対する科研費 2000 万円を考慮しても、約 950 万の赤字が計上されており、会員数減少と広告収入の減少が主な要因であると報告された。規約を変更することで会費を理事会で議決できるようにし、会費を上げることが検討されている。また、ぶんせき誌の電子化による支出削減も議論されていることが報告された。公益法人における細則の変更は、行政庁の承認が必要であるとの意見があった。ぶんせき誌の電子化に関して、電子化したものを印刷体に再変更した学会もあるとの意見があった。今年度は、近畿支部からの受賞者が多いことが報告された。

(2) 「ぶんせき」誌報告

吉田庶務幹事（編集委員の床波氏の代理）より、資料 No.4 に基づき説明があった。近畿支部担当分の原稿執筆の自薦他薦の依頼があった。

(3) 「Analytical Sciences」誌報告

編集委員の岡本氏より、資料 No.5 に基づき説明があった。投稿数が若干減少気味であること、特集号の紹介、IF が上昇していることが報告された。Facebook や国際会議におけるブース出

展などを通して広報を行っていること、査読審査賞が検討されていることについても説明があった。

(4) 「分析化学」編集委員会報告

編集委員の諏訪氏より、資料 No.6 に基づき、説明があった。web 投稿審査システムの導入が理事会で承認され、発注された。別刷購入のかわりに pdf 配布が検討されている。2020 年度の年間特集：「質」ということで、論文を受け付けている。また、“LC と LC/MS の新展開”，“産業を支える分析化学”という題目で、特集号が予定されている。

2. 2019 年度 支部事業 報告・計画

吉田庶務幹事より、資料 No.7 に基づき、本年度においてすでに実施された事業と今後実施予定の事業計画が報告され、承認された。

3. 2019 年度 支部会計 報告・計画

牧会計幹事から、資料 No.8 に基づき、2018 年 6 月 30 日現在の予算執行状況についての報告がされ、承認された。今年度から、懇親会の参加費も支部会計に組み込まれていることが報告された。

4. 各事業・WG 報告

(1) ぶんせき講習会

ぶんせき講習会委員長久本氏より、幹事会資料 No.9 に基づき、ぶんせき講習会の進捗状況が報告された。各講習会の参加登録数と収入状況については、予定通りであり、昨年と同様黒字の見込みである。また、発展編（責任者：安川氏）の詳細について、承認された。今後の発展編に関して、意見を集約した結果、希望する責任者がいる場合は企画するが、企画しない年があってもよいこと、実習にこだわらず講演会等としてもよいことが提案され、承認された。

(2) 支部講演会 WG

責任者の塚越氏より、資料 No.10 に基づき、2019 年 7 月 19 日に第 2 回支部講演会が実施されること、今後 12 月 6 日に第 3 回支部講演会、4 月に次年度の第 1 回支部講演会が企画されていることが説明され、了承された。第 3 回支部講演会については講演候補者が決定しているが、次年度の第 1 回支部講演会については、検討中であり、講演者推薦の依頼があった。

(3) 提案公募セミナー WG

責任者の山口氏より、資料 No.11 に基づき、2019 年度第 1 回提案公募型セミナーの開催予定が報告され、了承された。

(4) ホームページ&分近ニュース WG

責任者の松本氏より、資料 No.12 に基づき説明があった。第 46 号を 4 月 26 日（金）に発行し、新幹事を紹介する記事を掲載した。第 47 号を 9 月 24 日（金）に発行する予定であり、新役員の紹介記事も掲載予定であることが報告された。近分懇会員企業の無料広告掲載が募集中である。

(5) 第 13 回近畿支部夏季セミナー

責任者の森澤氏より、資料 No.13 に基づき、8/1～8/2 に予定されている第 13 回近畿支部夏季セミナーの参加申込状況（参加予定人数計 64 名：学生 49 名，教員・一般 10 名，講演者 5 名）について報告された。また、夏季セミナーの内容に関して説明があった。

5. その他

(1) 2021 年分析化学会年会開催地の選定について

茶山支部長から、2021 年大会が神戸大学鶴甲キャンパス（2021 年 9 月 22 日 - 9 月 24 日，21 日は準備）で開催予定であることが説明された。実行委員長として、大塚利行先生から、現在の進捗状況について説明があり、本部に神戸大学を開催地として報告することが承認された。

(2) 2019 年度学会賞等各賞受賞者について

資料 No.3 に基づき、茶山支部長から近畿支部所属の受賞者が紹介された。

(3) 2019 年度第 1 回合同事務局運営委員会報告

資料 No.14 に基づき、茶山支部長から第 1 回合同事務局運営委員会の議事について報告された。2016 年の取り決めにより分担割合人件費 2% 事務費 5%であり、全体として 5 万程度増加したが、支部の財政状況から問題ないことが報告された。日本分析化学会近畿支部関連の作業時間数は、若干、取り決めよりも多い。

(4) 学会賞等各賞候補者推薦依頼の件

茶山支部長から、ぶんせき誌 7 月号に掲載の各賞の規程に基づいた推薦の依頼があった。

(5) 協賛事業等

資料 No.15 に基づき、茶山支部長から日本分析化学会近畿支部が後援・協賛する事業が報告され、異議なく了承された、